



滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和8年 第37週 (9/7~9/13)

令和8年9月17日発行 滋賀県感染症情報センター

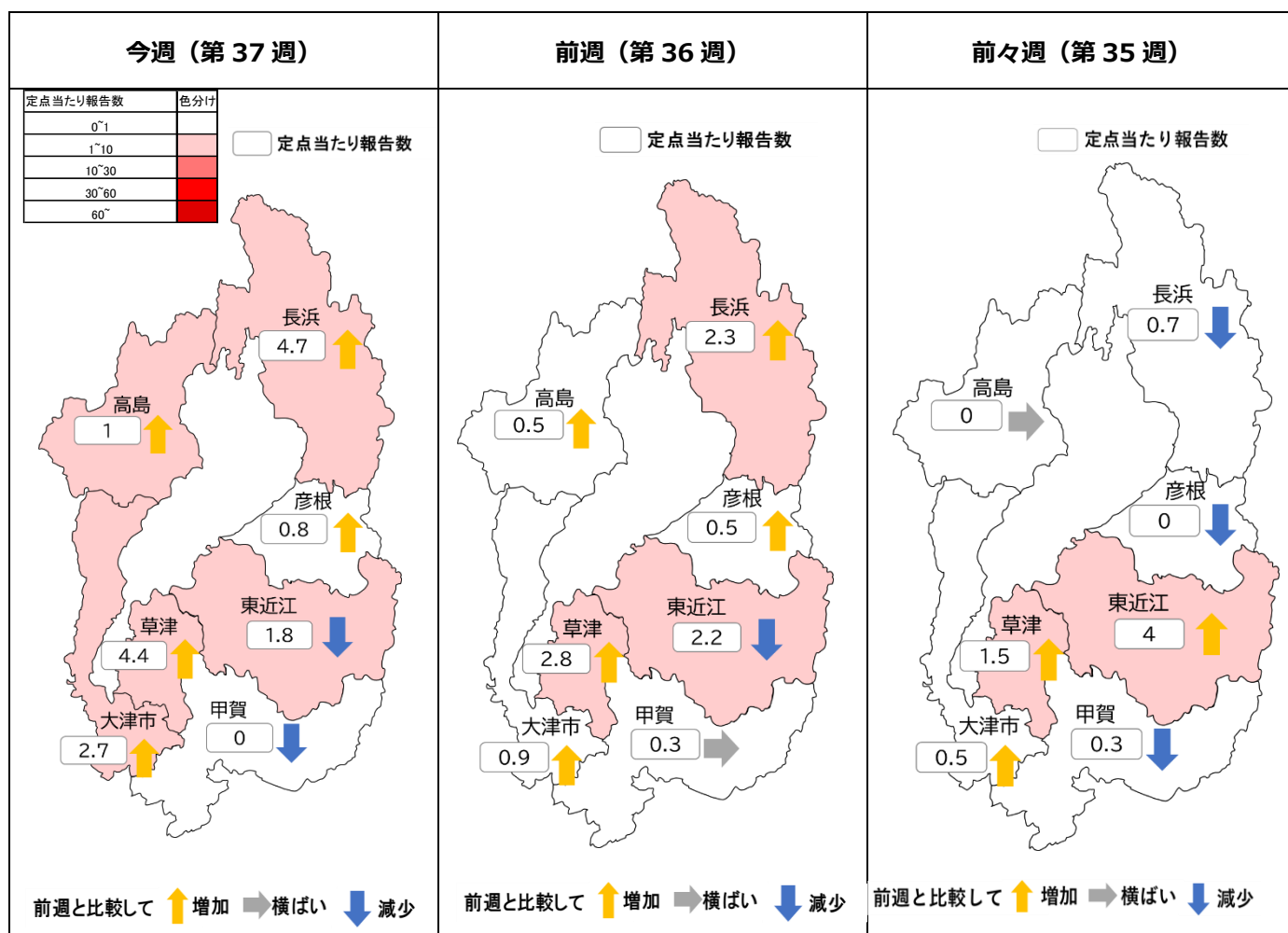
【TEL】077-537-7438 【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

- インフルエンザは第35週より流行期に入りました。定点医療機関の報告数および学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）において増加傾向が認められているため、手洗いや換気など、感染対策をお願いします。詳細は下記URLをご覧ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ej00/4391.html>

- 腸管出血性大腸菌について、報告数が「例年より非常に多く」、令和8年9月17日から9月27日まで本年度第6回目の警報が発令されています。食品の取り扱いや、患者からの二次感染にご注意ください。詳細は下記URLをご覧ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/332440.html>

2. 保健所圏域別 インフルエンザの定点当たりの報告数（過去3週分）の推移（マップ）



- ※ 「特に注意を要する感染症」とは、例年より非常に多い報告数である疾患や、季節性があり今後流行が予測される疾患、その他全国的な流行状況等から注意を要すると感染症情報センターで判断した疾患を指す
- ※ 定点当たり報告数の色分けは、疾患ごとに、過去10年の県内における発生状況や、注意報および警報等の基準値等を加味して5段階に区分
- ※ 図内の矢印は、前週の定点当たり報告数と比較して増減が5%未満である場合を「横ばい」、5%以上の増加を「増加」、5%以上の減少を「減少」と定義

【資料編】

 1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和8年および令和7年に報告のあった疾患）^{i, ii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			93(+4)	38	12(+1)	318(+1)		12	6	4(+2)	10,129	141	14,480
			6.66	11.03	3.39	2.16	8.11	7.91	4.19	9.25	8.18	10.10	11.70
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○	○	72(+7)	5	32(+3)	215(+2)		612(+2)	0	2910	45	4,319	
			5.16	1.45	9.05	1.44	6.76	3.96	8.38	0.00	0.36	3.22	3.49
四類 E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	462	2	585
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	0.14	0.47
A型肝炎	○	○	2	0	0	0	0	2	0	0	278	0	133
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.36	0.00	0.11
コクシジオイデス症			0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	83	4	164
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.29	0.13
日本紅斑熱	○		1	0	1	0	0	0	0	0	354	2	674
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.14	0.54
ライム病			0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	18
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
類鼻疽	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
レジオネラ症			24(+1)	5	6	3(+1)	2	6	1	1	1741	35	2413
			1.72	1.45	1.70	2.16	0.90	3.96	0.70	2.31	1.41	2.51	1.95
レプトスピラ症	○		1	1	0	0	0	0	0	0	8	1	63
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.07	0.05
五類 アメーバ赤痢			1	0	1	0	0	0	0	0	345	4	449
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.29	0.36
ウイルス性肝炎	○	○	3	1	0	0	1	1	0	0	146	0	260
			0.21	0.29	0.00	0.00	0.45	0.66	0.00	0.00	0.12	0.00	0.21
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2(+1)	1	0	0	1(+1)	0	0	0	682	5	1197
			0.14	0.29	0.00	0.00	0.45	0.00	0.00	0.00	0.55	0.36	0.97
急性脳炎	○		3	1	1	0	0	1	0	0	349	5	630
			0.21	0.29	0.28	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.28	0.36	0.51
クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	23
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		2	0	2	0	0	0	0	0	111	3	184
			0.14	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.21	0.15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		15(+1)	1	6	0	4	3	1(+1)	0	902	30	1382
			1.07	0.29	1.70	0.00	1.80	1.98	0.70	0.00	0.73	2.15	1.12
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	○		5(+1)	1	2	1	0	0	1(+1)	0	640	8	866
			0.36	0.29	0.57	0.72	0.00	0.00	0.70	0.00	0.52	0.57	0.70
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		5	1	3	0	0	1	0	0	405	11	650
			0.36	0.29	0.85	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.33	0.79	0.53
侵襲性髄膜炎菌感染症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	41	1	84
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.07	0.07
侵襲性肺炎球菌感染症	○		24	5	8	1	7	2	1	0	1938	48	3391
			1.72	1.45	2.26	0.72	3.15	1.32	0.70	0.00	1.57	3.44	2.74
水痘(入院例)	○	○	9	2	3	0	1	1	1	1	611	5	665
			0.64	0.58	0.85	0.00	0.45	0.66	0.70	2.31	0.49	0.36	0.54
多剤耐性緑膿菌感染症			2(+1)	2(+1)	0	0	0	0	0	0	165	-	-
			0.14	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	-	-
梅毒	○		66(+2)	8	30(+1)	5(+1)	11	1	11	0	7934	75	13530
			4.73	2.32	8.49	3.61	4.96	0.66	7.68	0.00	6.41	5.37	10.93
播種性クリプトコックス症	○		2	0	0	1	0	0	1	0	120	4	178
			0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	0.00	0.10	0.29	0.14
破傷風	○	○	3	2	1	0	0	0	0	0	75	0	94
			0.21	0.58	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.08
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	54	4	92
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.29	0.07
百日咳			91	28	30	14	8	3	0	8	4273	803	89387
			6.52	8.13	8.49	10.10	3.61	1.98	0.00	18.50	3.45	57.50	72.20
麻しん	○		2	0	0	0	0	2	0	0	552	5	265
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.45	0.36	0.21

- i. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。なお、上段の()内の数値は、前週からの増加数を示しています。
- ii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値ⁱⁱⁱ

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県							保健所別 (vi)							基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (iv)	例年より 多い (v)	例年より 非常に 多い(v)	大津 市	草津	甲賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	全国 (前週)	警報 開始	警報 終息	注意報
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:39)	急性呼吸器感染症 (ARI)	33.00	39.03	44.85	-	-	-	36.00	45.82	41.00	43.00	31.75	119.67	9.00	48.41	-	-	-
	インフルエンザ	1.23	1.64	2.66		○		2.70	4.00	0	1.83	0.75	4.67	1.00	3.29	30	10	10
	新型コロナウイルス 感染症	1.10	1.44	1.82	-		-	1.30	0.91	0.67	3.00	0.25	7.00	2.00	2.08	-	-	-
小児科 (定点数:23)	RSウイルス感染症	0.74	0.78	0.73	-	○		0.33	1.00	0	0.25	2.00	2.00	0	1.02	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.17	0	0.09				0	0	0.50	0	0	0.50	0	0.26	3	1	-
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	0.83	0.48	0.41				0	0	1.00	0.50	0.50	2.00	0	1.38	8	4	-
	感染性胃腸炎	2.43	2.26	2.18				0.33	2.60	1.00	1.75	5.00	7.00	0	3.86	20	12	-
	水痘	0.22	0.13	0.05				0	0.20	0	0	0	0	0	0.21	2	1	1
	手足口病	0.96	0.87	1.18				0	0.40	1.50	1.75	2.50	4.50	0	1.73	5	2	-
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	2	1	-
	突発性発しん	0.22	0.22	0.23	-	○		0	0	1.00	0.50	0.50	0	0	0.31	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.39	0.57	0.50				0.50	0.80	1.50	0	0	0.50	0	0.96	6	2	-
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0	0.09	0.05				0	0	0	0	0	0	1.00	0.03	6	2	3
眼科 (定点数: 9)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.65	8	4	-
基幹 (定点数: 7)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0.29	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.05	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.29	-			0	0	0	2.00	0	0	0	0.40	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	インフルエンザ入院	0	0.43	0.71	-	○	○	2.00	2.00	0	1.00	0	0	0	0.59	-	-	-
	COVID-19入院	1.14	0.14	0.86	-		-	0	2.00	0	2.00	1.00	0	1.00	0.60	-	-	-

*第 37 週は、急性呼吸器感染症（ARI）定点数は 39 医療機関、インフルエンザ／COVID-19 定点数は 38 医療機関、小児科定点数は 22 医療機関となっています。

- iii. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- iv. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報（「警」）を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報（「注」）を発令します。
警報・注意報のない疾患については、「-」と表記しています。
- v. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）。
- 新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- 急性呼吸器感染症（ARI）は、過去5年のデータがなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- vi. **赤字斜字**：警報開始基準値以上、**紫字斜字**：注意報基準値以上

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	101	-	1	2	4	4	3	11	7	3	7	3	12	3	11	4	11	6	5	3	1
大津市保健所	27	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-	5	1	6	4	1	2	1	1	1
草津保健所	44	-	1	-	1	-	-	2	2	2	6	2	5	1	5	-	10	3	3	1	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	11	-	-	-	1	2	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
彦根保健所	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長浜保健所	14	-	-	2	1	-	2	7	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス 感染症	69	2	1	9	6	3	2	2	4	3	-	-	7	1	2	1	3	2	3	8	10
大津市保健所	13	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	2	1	2	-	2
草津保健所	10	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1
甲賀保健所	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
東近江保健所	18	1	1	3	4	2	1	1	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-
彦根保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	21	-	-	3	1	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	7
高島保健所	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
急性呼吸器感染症 (ARI)	1749	120	706	308	99	25	52	61	59	54	52	107	106
大津市保健所	360	24	120	45	29	14	13	24	20	15	8	26	22
草津保健所	504	43	196	100	21	6	22	27	21	19	22	14	13
甲賀保健所	123	8	50	21	7	1	5	2	5	5	3	11	5
東近江保健所	258	18	115	42	6	2	8	4	10	5	5	26	17
彦根保健所	127	6	46	25	8	0	1	2	2	4	6	11	16
長浜保健所	359	21	177	72	23	1	3	2	1	5	8	16	30
高島保健所	18	0	2	3	5	1	0	0	0	1	0	3	3

*第 37 週は、急性呼吸器感染症（ARI）定点数は 39 医療機関、インフルエンザ／COVID-19 定点数は 38 医療機関、小児科定点数は 22 医療機関となっています。

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

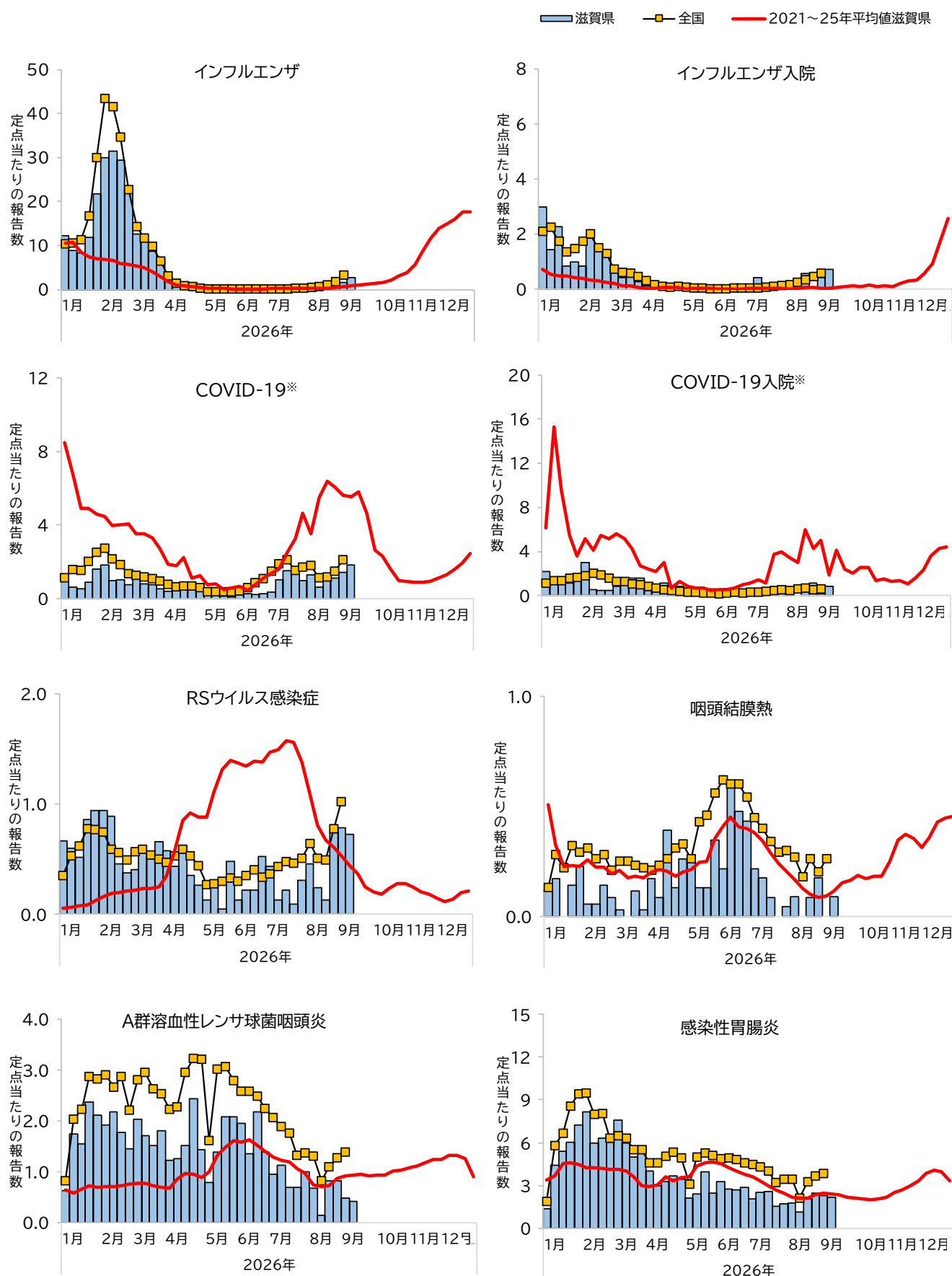
小児科定点 (23医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	16	4	4	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	1	1	1	1	1	2	-	-	2	-	-
感染性胃腸炎	48	-	6	5	4	1	7	3	3	3	1	4	9	-	2
水痘	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	26	-	6	10	8	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	5	-	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	-	1	2	5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

眼科定点 (9医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	5	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
新型コロナウイルス 感染症入院	6	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

*第 37 週は、急性呼吸器感染症（ARI）定点数は 39 医療機関、インフルエンザ／COVID-19 定点数は 38 医療機関、小児科定点数は 22 医療機関となっています。

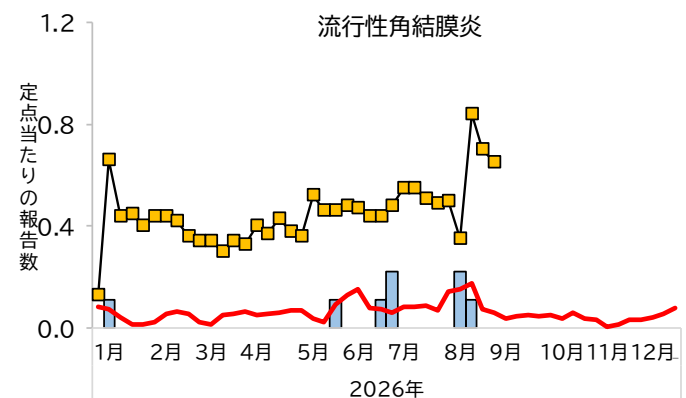
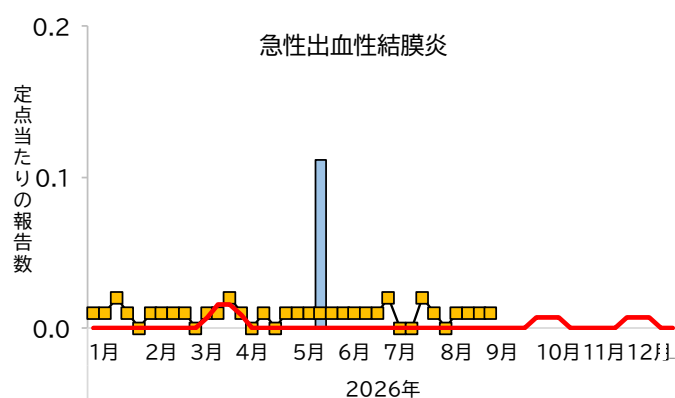
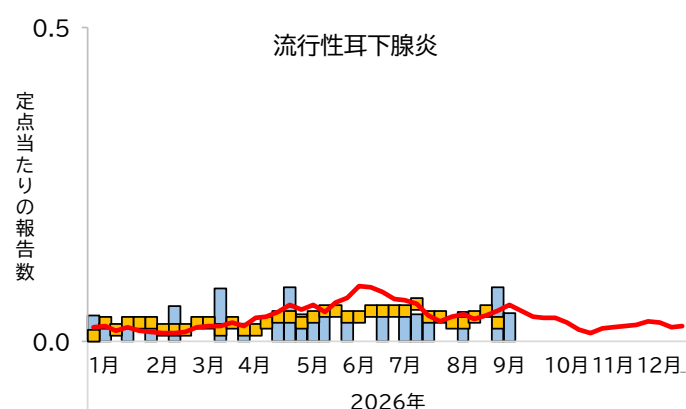
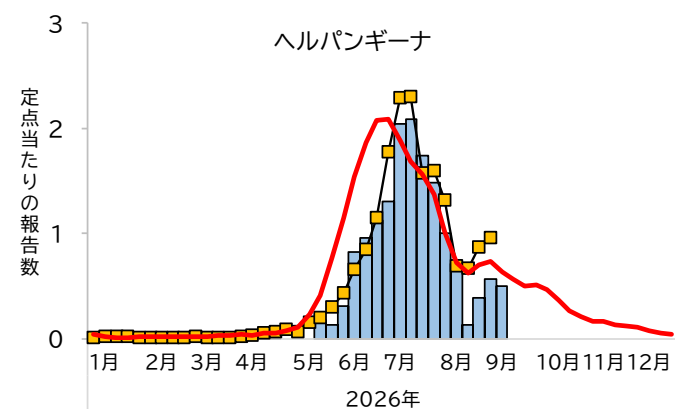
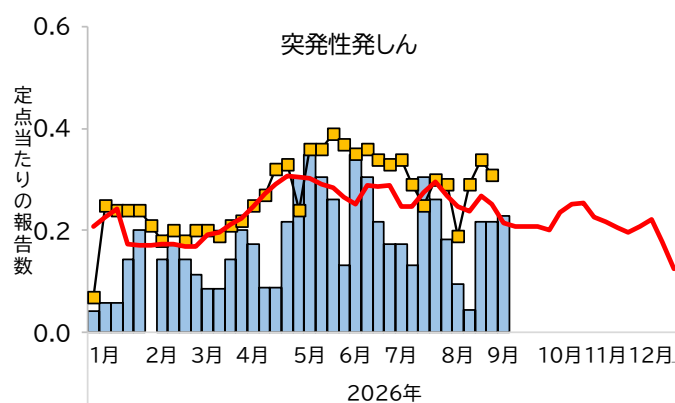
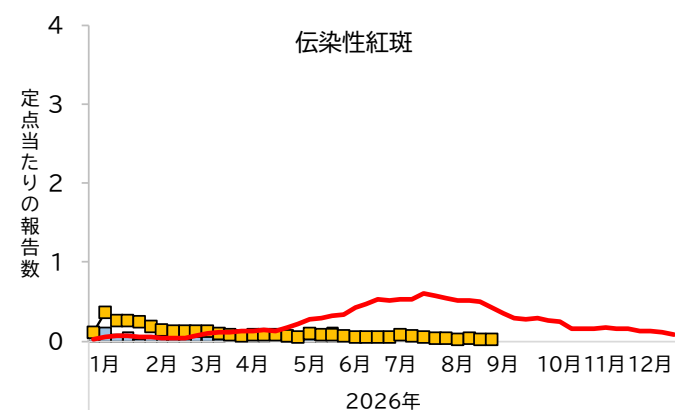
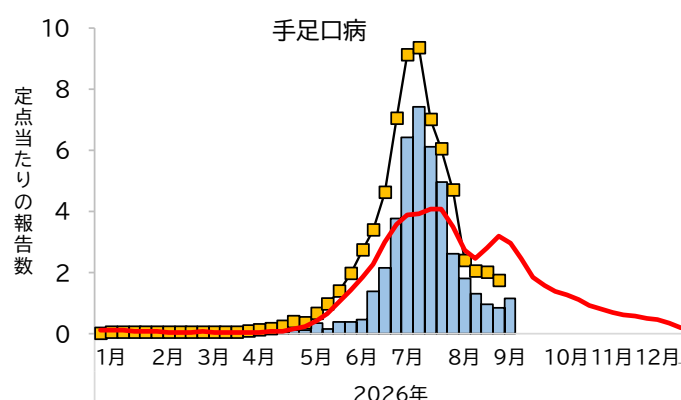
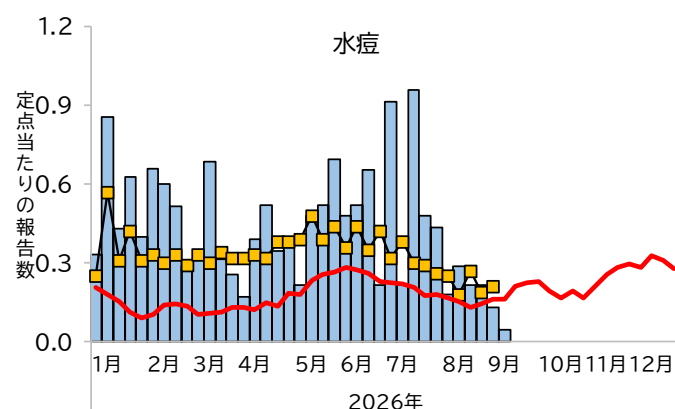
4-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※COVID-19 は、過去5年分のデータがないため、『2020 年～24 年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024 年』の値、『2021 年～25 年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2025 年』の値を掲載しています。

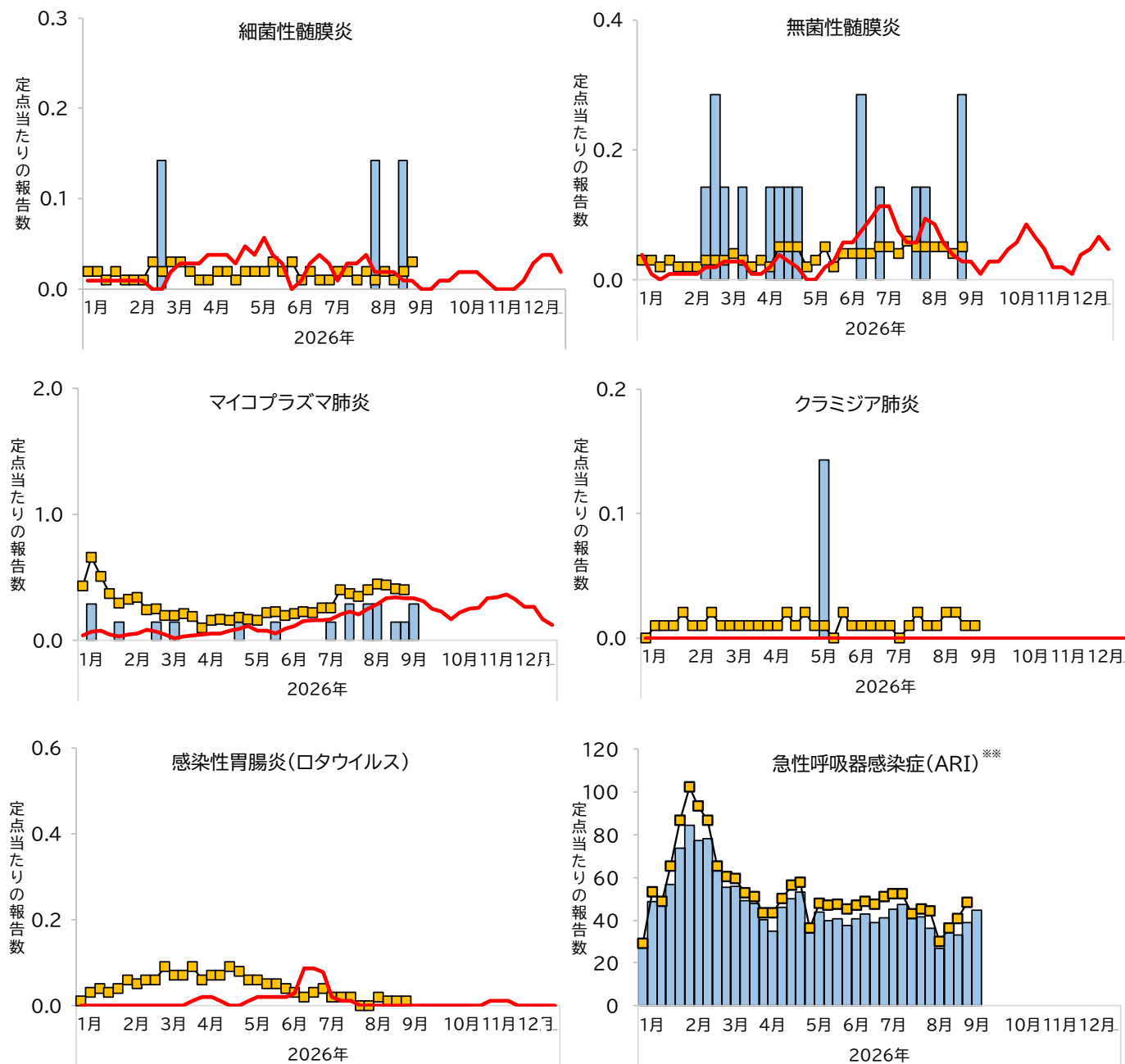
4-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国 — 2021～25年平均値滋賀県



4-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国 — 2021～25年平均値滋賀県



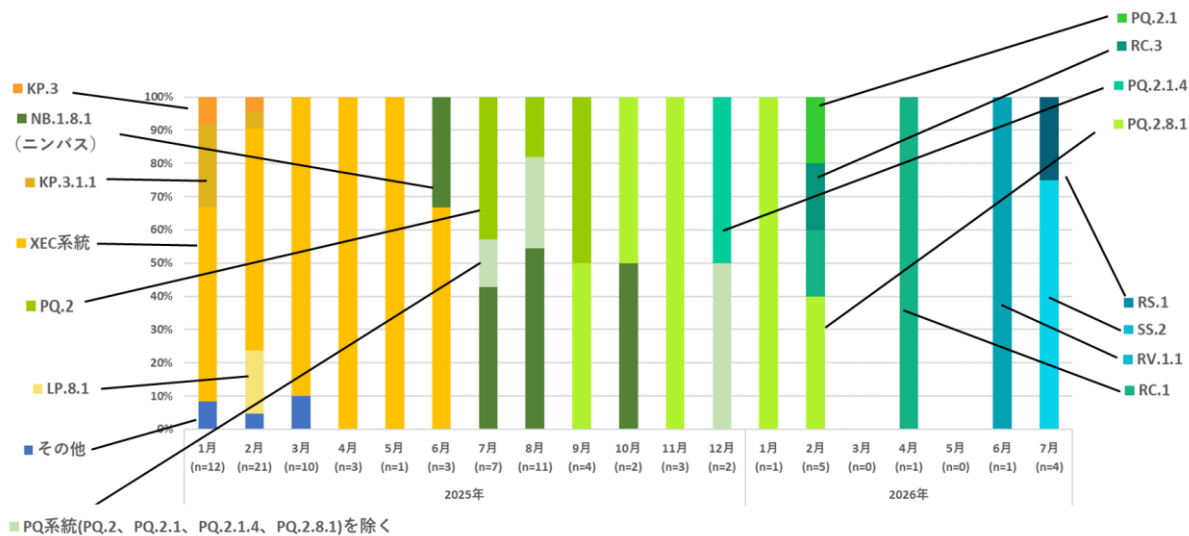
※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

5. 病原体検出情報

- (1) 病原体定点検出情報（検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は[月報](#)・[病原体情報](#)に掲載しています。）
- ・第 36 週採取の検体からコクサッキーウイルス A10 型が検出されています。（無菌性髄膜炎）
 - ・第 35 週採取の検体からパレコウイルス 1 型が検出されています。（上気道炎、下気道炎）
 - ・第 34 週および第 35 週採取の検体からパレコウイルス 3 型が検出されています。（無菌性髄膜炎、下気道炎）
- (2) 定点以外の病原体検出情報（衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報）
- ・特記すべき病原体検出情報はありません。

6. 滋賀県における新型コロナウイルス感染症月別ゲノム解析結果（検体採取月別）

衛生科学センターでは、新型コロナウイルスの遺伝子配列について次世代シーケンサー（NGS）を用いて解読し、変異株のモニタリングを行っています。解析結果が判明次第、週報に掲載しています。



2025 年 6 月までは、オミクロン株である JN.1 系統から派生した亜系統の組み換えである XEC 系統が多く検出されていましたが、2025 年 7 月以降は別の組み換え系統から派生した NB.1.8.1(通称：ニンバス)や、その下位系統にあたる PQ 系統の検出が続きました。2026 年 4 月以降も、少数ではあるもののニンバスの下位系統である RC.1、RV.1.1 が検出されましたが、2026 年 7 月にはニンバスの系統は検出されなくなり、BA.3.2 の下位系統である RS.1 や SS.2 が検出され、全国と同様の傾向がみられています。

RS.1 や SS.2 の親系統である BA.3.2 系統は、2022 年ごろに確認され、長期間検出されない期間が続いたのち再度検出されていることから、地中に潜るセミになぞらえセミ型とも言われています。ただし、体内に長く潜伏していたという意味ではありません。BA.3.2 系統は、スパイクタンパクに多数の変異をもち、免疫回避能力は非常に高いと言われていますが、感染力や増殖力は高くなく、重症化リスクは低いと評価されています*。

*https://cdn.who.int/media/docs/default-source/documents/epp/tracking-sars-cov-2/05122025_ba.3.2_ire.pdf?sfvrsn=a29c3612_4

【参考：最近の全国における SARS-CoV-2 検出状況】JIHS 国立健康危機管理研究機構 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランス週報

2026 年第 32 週（右表）(<https://id->

[info.jihs.go.jp/surveillance/idss/target-diseases/acute-respiratory-infection/weekly-report/archive/2026/ARI_2026w32.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idss/target-diseases/acute-respiratory-infection/weekly-report/archive/2026/ARI_2026w32.pdf))

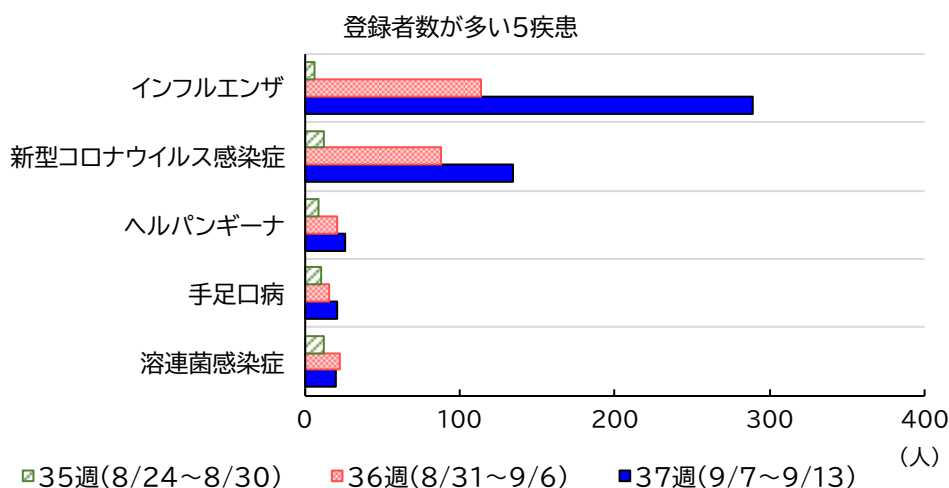
表 5: 全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況

Pango lineage (Nextclade 3.23.0)	検体数 (2026年7月)	割合
BA.3.2系統	81	68.07%
SS.2	65	54.62%
RS.1.3	5	4.20%
RS.1	3	2.52%
RE.2.5	2	1.68%
RE.1.1.2	2	1.68%
Others	4	3.36%
NB.1.8.1系統	19	15.97%
SV.2	6	5.04%
RK.1	4	3.36%
SV.1	3	2.52%
PQ.2.1.11	3	2.52%
Others	3	2.52%
XFG系統	4	3.36%
XFG.6.13	3	2.52%
Others	1	0.84%
その他	15	12.61%
Others	3	2.52%
Unassigned	12	10.08%
総計	119	100.00%

出典：新型コロナウイルスゲノムサーベイランス
注）赤字は割合の上位 3 系統。表は検出割合が 1%未満の lineage は Others として記載。

7. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。
入力いただいたデータを集計して掲載しています。



8. 参考情報

【**tableau public**】 県内の全数把握疾患および定点把握疾患の報告状況について、詳細を公表しています。

<https://public.tableau.com/app/profile/.49137914/vizzes>



【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/inful/school/flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html

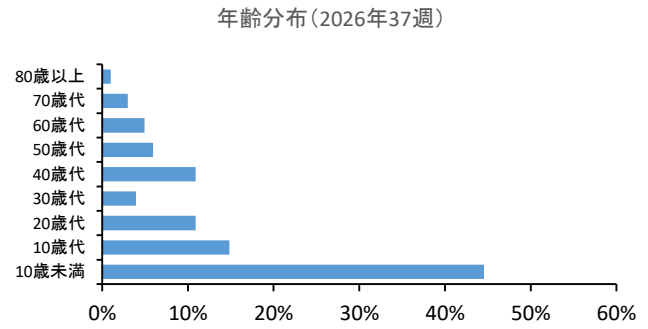
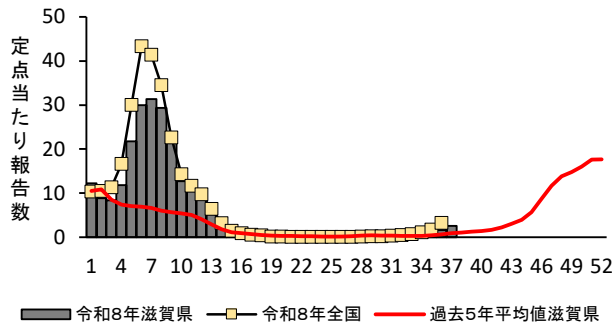
- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

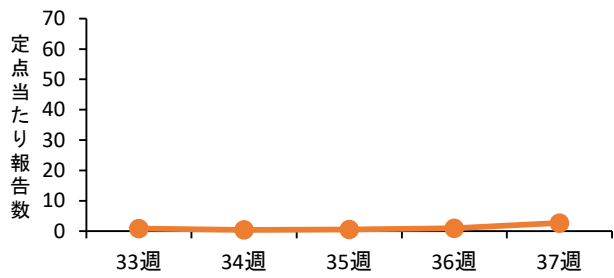
滋賀県感染症情報センターHP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



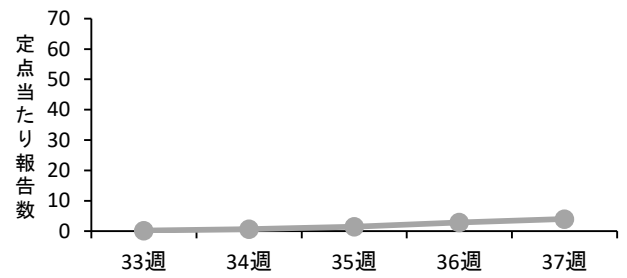
滋賀県 インフルエンザ感染動向 令和8年第37週



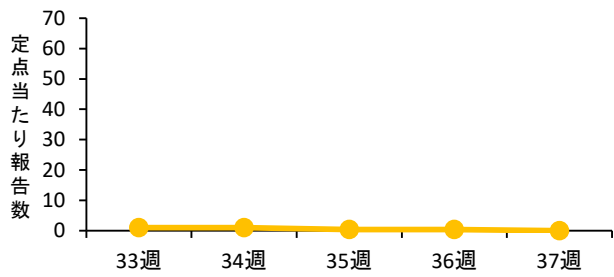
大津市



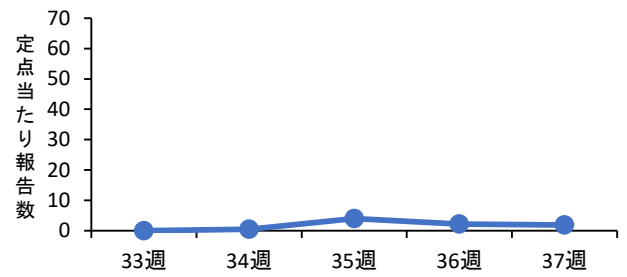
草津



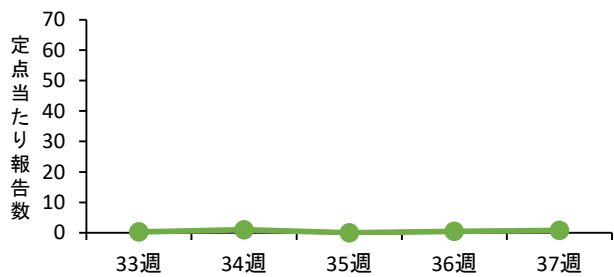
甲賀



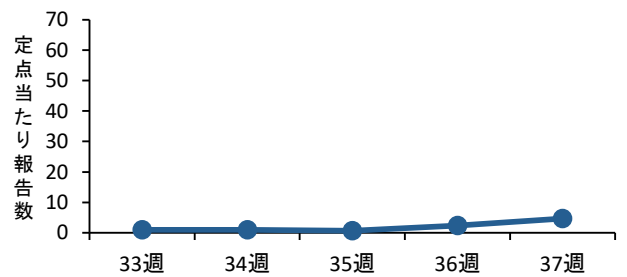
東近江



彦根



長浜



高島

